

## 調査の項目について（たたき台）

### ○調査のねらい

障害児・者全体の数、障害の程度・状況や生活ニーズを把握した上で、生活の状況を踏まえ、サービスの必要性を把握する。

具体的には、

- ・我が国における障害者数と障害の種類や程度を把握する
- ・障害者の生活の実態を把握する
- ・必要とされているサービスについて把握する
- ・障害の種類や程度に応じた支援の必要性について把握する

### ○調査の項目を検討するに当たっての留意事項

- ・無作為抽出による調査の特性に見合った調査項目とする  
→特定の対象者や制度に関するものは、この調査にはなじまない
- ・回収率確保のため、調査項目数を一定程度以下にするとともに、質問内容は平易なものとする。  
→国勢調査を参考に15問程度とする  
→制度を知らなければ回答できないような項目は入れない

### ○把握すべき内容

把握すべき内容	具体的内容
① 障害者数	・障害により支援を必要とする者の数（年齢、性別、同居家族の有無等）
② 障害の状況	・障害の種類、程度、原因（疾病名、その他） ・手帳（身体・療育・精神）の所持状況（所持していない場合は理由等）
③ 障害者のニーズ	・支援の必要性及び程度 （生活支援、医療、日中活動・就労、社会参加、生活資金）
④ 障害者の実態	・支援の状況（サービス（公的・私的）の利用や家族による支援） ・医療の利用状況 ・日中の過ごし方 ・外出の機会 ・収入と支出、資産等